

# 梅鶯仏教壮年会報

第132号  
2016年  
4月17日

## 長野住職がラジオ出演

KBS京都のラジオ番組『本多隆朗の京のあつたか円かじり』に長野住職がゲスト出演しました。

同番組は、毎週日曜日の朝6時25分から55分まで放送される番組で、メインパーソナリティは本派僧侶の本多隆朗氏（元毎日放送テレビプロデューサー）が担当し、アシスタントを伴真理子さんが担当しています。

2002年10月に放送が開始された長寿番組で、毎回ゲストをスタジオに迎え、京都を中心とする様々な話題や情報を紹介する番組で、吉本興業が制作協力をしています。

今般長野住職は「今朝のお寺さん」というコーナーにゲスト出演し、2週連続で放送されます。

本年3月まで龍谷大学総務局長を勤めていたことがメインの話題ですが、法輪寺梅鶯仏教のことに触れています。

どうか皆さまお聴き下さい。

### 【放送日】

4月17日（日）  
同 24日（日）

朝6時25分より



KBS京都スタジオ

## 一年を振り返って

副会長 森英雄

昨年度3月28日に平成26年度の梅鶯仏教壮年会総会が開催され、新役員が決定され、副会長に任命されました。

任期は平成30年3月までの3年間を勤めることになりました。

会員のみなさまには、大変お世話になりましたが、宜しくご指導、ご協力、ご鞭撻下さいますようお願い申し上げます。

平成28年からの行事に積極的に参加し、交流の輪を広げ活動して参ります。

さて、昨年度の行事の除夜会について一言ふれさせていたただきます。

去る12月30日に会員11名の参加のもとに法輪寺本堂において梅鶯仏教壮年会の除夜会を行いました。

5時半から竹灯籠を始め、夜6時頃からは正信偈を勤め、その後に住職の法話を聞き、引き続いて懇親会が始まりました。

食卓に私の好物でありますおでんが出され、あつあつの間に食味し、深くご恩を喜び感謝しながら持参した下さいます。

にはあつくお礼申し上げます。

日頃孫との会話の中で、食前食後の言葉（合掌）を日常生活にかかれています。

心が安らぎ今後とも接点を持ちながら続けて参ります。

私たちは仏様に生かされている事と感謝の気持ちがあり、嬉ぶ事であり、仏様の教えでもあります。

人と人とのふれあいを大切にムリのない楽しい人生を過ごしていきたいものです。

最後になりましたが、いつもお世話になっております。ご住職はじめ坊主様にはあらためてお礼申し上げます。

今年もいろいろとお世話になります。自由闊達な中で全身全霊で邁進してまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

## 定期総会

四月二十三日

日（土）

午後六時

より

## 題材法話

新年あけましておめでと  
うございます。  
正月の正という字は、正  
しいという字ですが、この  
「正」という字は、止める  
という字の上に一という字  
を書きます。

これは正しいことを成す  
ためには、一度足を止める  
必要がある。一度足を止め  
て考えてみる必要がある、  
ということだそうです。

その意味で、正月とは、日頃からの慌ただしい生活を「一度止めて、この一年をどう過ごすか」をゆっくり考える月、という意味になります。

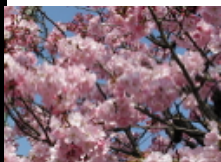
確かに私自身の日頃の生活のありさまを見ても、落ちついて考える時間が時々必要であると感じ致します。

せめて年に一度の正月くらいには、落ち着いてわが身を振り返る時間を持ちたいと思う事です。

○「**仏教**」と



「仏法」  
は、  
と  
こ  
ろ  
で  
私  
た  
ち  
の  
心  
の



よりどこであります教えを「仏教」と呼んでいます。が、実はこの仏教という呼び方は、もともとキリスト教やイスラム教などと並べ立てて呼ぶために作られた言葉であり、明治までは「仏教」という言葉ではなく「仏法」と呼んでいました。

な意味が含まれています。実はこのことは大変大事な意味が含まれています。ぶ宗教は、キリスト教やイスラム教のように、その神の考えに基づく教えの上に成り立っています。の教えであり、「キリストの教え」であり、「ムハントの教え」という呼び方が相応しいのです。にただし、このことは往々にして「わが神の教え」が絶対であり、「他の神の教え」は受け容れられないということです。

現在、世界で起きている様々な紛争のほとんどが、その根底に排他的な宗教観があるように思えます。



ただし本質的には「排他的な宗教観を利用した利害紛争」と言った方が正しいのかも知れません。

○普遍的な法則  
もともとの物事の本質的  
なあり方、これを「法」  
（だるま）と呼びます。

この本来のモノのあり方は全て「縁起」により成り立ち、それをそのままお釈迦様が示されたものを「仏法」と呼びます。

したがつて「仏法」とは、お釈迦様が明らかにされたこの世の法則という意味であり、その法則はたとえお釈迦様によつて明らかにされなかつたとしても、厳然として成り立つています。

もしもその法則がお釈迦様によつて作られたモノであるならば、「釈迦教」とかあるいは「仏教」と呼んでも良いのかも知



れませんが、普遍的な法則である限り「仏法」と呼ぶのが正しいのです。

○論理的宗教・仏教  
「○○の教え」とするならば、その教えに従順な者だけが救いの対象となり、背けば悪となります。

仏教（仏法）は、正義  
 や、悪という色分けは一切  
 することがなく、縁起によ  
 り成り立つすべてが平等に  
 存在すると説きます。良い  
 とか悪いとかは人間の方の  
 都合で決めていることで、  
 そこに悩みや苦しみや争い  
 が起きると説きます。

非常に論理的で、説得力があり、なおかつ平和的であるこの仏教が、混迷する世界に少しでも広がって行くことを願うばかりであります。

A close-up photograph of several bright pink flowers, likely cherry blossoms, with green leaves visible in the background. The flowers are in sharp focus, showing their delicate petals and stamens.

2016年

修正会

住職法話より

